



平成 20 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ユー・エス・エス
代表者名 代表取締役社長 安藤之弘
(コード番号 4732 東証・名証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 山中雅文
統括本部長
(TEL. 052-689-1129)

平成 20 年 3 月期 (第 28 期) 期末配当予想の修正 (増配) および
配当水準引き上げに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 19 年 5 月 8 日の決算発表時に公表しました平成 20 年 3 月期 (第 28 期) 期末配当予想について、下記のとおり修正するとともに、配当水準を引き上げることを決議しましたのでお知らせします。

なお、本件は平成 20 年 6 月下旬に開催予定の第 28 期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 平成 20 年 3 月期 配当予想修正 (増配) および配当水準引き上げの理由

自動車流通市場では、新車・中古自動車ともに販売不振が続いており、平成 19 年 4 月 1 日から 12 月 31 日までの軽自動車を含む新車登録台数は前年同期比 6.7%減、中古車登録台数は前年同期比 6.2%減 ((社) 日本自動車販売協会連合会、(社) 全国軽自動車協会連合会調べ) となりました。

このような状況にも拘わらず、U S S グループの主要事業であるオートオークションにおいては、平成 20 年 3 月期第 3 四半期 (平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日まで) までの出品台数は 2,109,427 台 (前年同期比 1.6%増) と微増でしたが、成約台数は中古車輸出が引き続き好調であったことなどにより、成約率が 57.6% (前年同期実績 53.9%) と大幅に上昇し、1,215,341 台 (前年同期比 8.6%増) と伸張することができました。

また、平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績についても、売上高 50,354 百万円 (前年同期比 7.4%増) 営業利益 19,554 百万円 (前年同期比 8.7%増)、経常利益 19,793 百万円 (前年同期比 7.5%増) と過去最高益を達成することができ、平成 20 年 3 月期 (通期) 連結業績予想に対しても堅調に推移している状況であります。

つきましては、平成 18 年 2 月 6 日に公表した (別紙、平成 18 年 2 月 6 日付当社プレスリリースをご参照ください。)、将来的には連結ベースの配当性向 30%程度まで配当水準を引き上げるとの目標を達成し、今後については、財務体質の強化を図りながら、連結ベースの利益に応じて積極的な利益配分を行うことを基本方針とし、将来的に連結ベースの配当性向 40%を目標としていきたいと存じます。

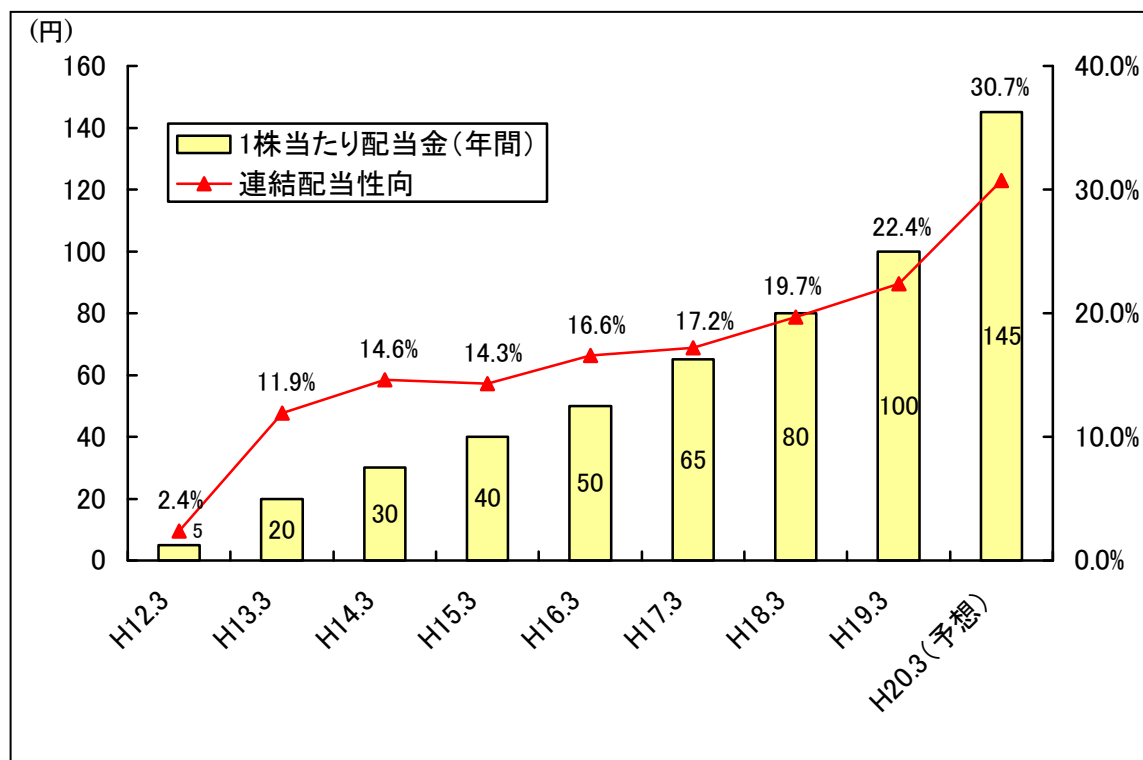
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 修正の内容

	1株あたりの配当金			配当性向 (連結)
	中間期末	期 末	年 間	
前 回 発 表 予 想 (平成19年5月8日発表)	60円	60円	120円	25.4% (注)
今 回 修 正 予 想	—	85円	145円	30.7% (注)
当 期 実 績	60円	—	—	—
前 期 実 績 (平成19年3月期)	50円	50円	100円	22.4%

(注) 前回発表予想および今回修正予想の配当性向(連結)は、平成20年3月期(通期)連結業績予想に基づき計算しております。

3. 当社における株式上場以来の1株当たり配当金(年間)および連結配当性向の推移 (株式上場日:平成11年9月10日)



以 上

【別紙、平成 18 年 2 月 6 日付当社プレスリリース】



平成 18 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社ユー・エス・エス
代表者名 取締役社長 服 部 太
(コード番号 4732 東証・名証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役 山 中 雅 文
統括本部財務部長
(TEL. 052-689-1129)

平成 18 年 3 月期 (第 26 期) 配当予想の修正および 配当水準引き上げに関するお知らせ

株式会社ユー・エス・エスは、平成 18 年 2 月 6 日開催の取締役会において、期末の 1 株あたり配当予想について、下記のとおり修正するとともに、配当水準を引き上げること決議いたしましたのでお知らせします。

なお、本件は平成 18 年 6 月下旬に開催予定の第 26 期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 平成 18 年 3 月期 配当予想修正 (増配) および配当水準引き上げについて

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重点課題の一つとして認識しており、日頃のご支援にお応えするとともに今後も引き続きご支援を賜りたく、利益還元の一環として、平成 18 年 3 月期の期末配当金を 1 株あたり 47.5 円 (年間 80 円) と年間で 15 円の増配とさせていただくことといたしました。

また、配当水準につきましては、今後とも財務体質の強化を図りながら、連結ベースの利益に応じた積極的な利益配分を行うことを基本方針といたします。

具体的には、連結ベースの配当性向を、当期 (平成 18 年 3 月期) は 20% 程度 (予想) まで引き上げ、将来的には 30% 程度を目標にしていきたいと存じますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 修正の内容

	1 株あたり 期末配当金	1 株あたり 年間配当金	〈備考〉 1 株あたり中間配当金
前 回 発 表 予 想 (平成 17 年 11 月 22 日発表)	32.5 円	65 円	中間配当金 32.5 円 実施済
今 回 修 正 予 想	47.5 円	80 円	
前 期 実 績 (平成 17 年 3 月期)	35 円	65 円	30 円

以 上